

入札説明書

公益財団法人 住宅リフォーム・紛争処理支援センター

公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターの「令和8年度 建設住宅性能評価書データに関する集計・分析等業務」に係る入札公告（令和8年9月2日付け）に基づく入札については、下記に定めるところによる。

【はじめに】

- (1) 入札公告及び本説明書を熟覧し、承諾の上で本件入札に参加すること。
本件入札についての説明は本説明書及び関係書類の交付による。
入札書の提出後は、不知又は不明を理由として本件入札に異議を申し立てることはできない。
- (2) 本件入札に関して要した費用は、全て入札参加者の負担とする。
- (3) 入札参加者は、本件入札に関して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

1. 業務概要

- (1) 件名
令和8年度 建設住宅性能評価書データに関する集計・分析等業務
- (2) 業務内容及び履行期間
仕様書による。

2. 入札書として提出するもの

- ① 入札金額を記載した書面（様式1）
- ② 見積書（様式は任意）
- ③ 提案書（様式2～4）
- ④ 誓約書（様式5）

いずれも A4 判片面使いとし、様式2～4はクリップ留め（ホチキス、糊付け等不可）で提出のこと。

入札参加資格の説明用に、会社案内等の説明資料（書式自由）を添付してもよい。ただし参照すべき部分、どの事柄を説明するものかを、付箋等により明示すること。

3. 入札価格と提案の得点配分

総合点を100とし、入札価格と提案の得点配分は50対50とし、その合計点で落札者を決定する。

4. 入札価格の得点化の方法

入札価格の得点化の方法については、加点方式とする。

入札価格の得点＝入札価格に係る得点配分×（1－入札価格／予定価格）

5. 提案書の評価の観点等

下表に示す、評価項目・評価の観点により評価する。

評価項目		評価の観点
様式1 入札金額		・ 予定価格以下である ・ 低入札価格（予定価格の6割）未満の場合には調査を行う
	算出式	・ 入札価格の得点化の方法については次のとおりとする。 入札価格の得点＝入札価格に係る得点配分×（1－入札価格／予定価格）
様式2 組織概要及び事業実施体制		
	<u>組織概要について</u>	<u>a. 本業務の同種・類似業務（直近3年間のものに限る）の実績を組織として有しているか。</u>
	本業務実施体制について	b. 本業務の同種・類似業務（直近3年間のものに限る）を担当した実績を有する人員の確保がなされているか。
様式3 セキュリティ対策と作業工程表		
	<u>セキュリティ対策について</u>	<u>c. 本業務を実施するうえでのセキュリティ対策は十分であるか。</u>
	作業工程表について	d. 仕様書の内容に則して、計画的かつ納期までに業務が完了する実現性ある内容となっているか。
様式4 本業務に対する提案		
	<u>調査・分析の基本的考え方について</u>	<u>e. 本業務の目的や背景を十分に理解したうえで、明確かつ確かな考え方が示されているか。</u>
	データの集計・分析の視点や切り口について工夫はあるか	f. 等級データの集計・分析を進めるにあたって、的確な分析を行うために、独自の視点や切り口の設定やその実施方法についての工夫が示されているか。
	データクレンジング方法の考え方に工夫はあるか	g. 元データの間違いをどのように検出し、円滑な集計・分析を進めるうえで支障が生じないよう、修正・置換等（データクレンジング）をする方法について、現実的かつ実践的な考え方や工夫が示されているか。
	<u>大量のデータ処理と解析を進めるうえでの具体的提案はあるか</u>	<u>h. 取り扱うデータ量が大きいため、的確な集計・分析作業等を進めるうえで、電子計算機やソフトウェアの使用方法について具体的な提案が示されているか。</u>
	独自の提案内容はあるか	i. 仕様書の要求事項を満たすために、調査・分析にあたり、その他、独自で現実的な切り口の設定や調査分析方法の提案・工夫があれば評価する。

※太字・下線の評価基準は必須項目であり、一つでも最低限の水準(基礎点)に達しない場合には、失格とする。

6．その他詳細は、仕様書による。

7．本説明書及び仕様書に定める事項のほか、総合評価落札方式にあたって必要な変更等が生じた場合は、別途公告又は通知する。

以上